

廃水・廃棄物の資源・エネルギー化に関する講演会

微生物燃料電池（MFC）は、細胞外電子伝達能を有する発電微生物による有機物代謝を利用して発電することが可能な仕組みで、有機性廃水処理への展開が期待されています。また、溶媒抽出に用いられる複数の試薬を同時に用いる協同効果は、廃家電などからのレアメタルの分離・抽出の効率化が期待されています。これらの現状と今後の展開について、ご専門のお二人の先生からご紹介いただきます。

- 期日 2019年12月21日(土) 14:00~17:05
(13:30 受付開始)
- 会場 大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス J407教室
〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8
- プログラム
 - 13:30 開場
 - 14:00-14:05 開会
 - 14:05-15:25 講演1：微生物燃料電池の含窒素有機性廃水処理への展開
渡邊 智秀
群馬大学環境創生部門 社会基盤防災コース 教授
 - 15:25-15:40 休憩
 - 15:40-17:00 講演2：湿式の金属分離における協同効果の利用
倉橋 健介
大阪府立大学工業高等専門学校 環境物質化学コース 講師
 - 17:00-17:05 閉会

